

ダイワ・アンビット・インド小型株ファンド

運用報告書(全体版) 第1期

(決算日 2025年6月16日)

(作成対象期間 2025年1月31日～2025年6月16日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2025年1月31日～2046年6月15日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ. ギフトシティ（インド）籍の外国投資信託「アンビット・インド・アセンション・ファンド（クラスA）」の受益証券（円建） ロ. 別に定める上場投資信託証券（ETF） ハ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の30%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、インドの小型株式に投資を行ない、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			M S C I インド指数 (税引後配当込み、円換算)		公 社 債 組入比率	投資証券 受益証券 組入比率	純資産 総 額
	(分配落)	税 込 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率			
1 期末(2025年 6 月16日)	円 9,714	円 0	% △ 2.9	10,084	% 0.8	% 0.0	% 97.9	百万円 27,172

- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) M S C I インド指数 (税引後配当込み、円換算) は、MSCI Inc. (「M S C I」) の承諾を得て、M S C I インド指数 (税引後配当込み、インド・ルピーベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。M S C I インド指数 (税引後配当込み、インド・ルピーベース) は、M S C I が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はM S C I に帰属します。またM S C I は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、M S C I によって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、M S C I は本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>]
- (注 3) 海外の指数は原則現地 2 営業日前の終値、為替レートは日本の前営業日の対顧客直物電信売買相場の仲値を採用しています。
- (注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注 5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

設定時：10,000円

期 末：9,714円（分配金0円）

騰落率：△2.9%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

インドの小型株式に投資を行った結果、インド株式市況の上昇はプラス要因となったものの、インド・ルピーが対円で下落（円高）したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

ダイワ・アンビット・インド小型株ファンド

年 月 日	基 準 価 額		MSCIインド指数 (税引後配当込み、円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2025年 1 月31日	円 10,000	% —	10,000	% —	% —	% —
1 月末	10,000	0.0	10,000	0.0	0.0	—
2 月末	8,986	△ 10.1	9,250	△ 7.5	0.0	98.0
3 月末	9,430	△ 5.7	9,961	△ 0.4	0.0	97.4
4 月末	9,236	△ 7.6	9,697	△ 3.0	0.0	97.4
5 月末	9,571	△ 4.3	10,228	2.3	0.0	97.0
(期末) 2025年 6 月16日	9,714	△ 2.9	10,084	0.8	0.0	97.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2025. 1. 31 ~ 2025. 6. 16)

■インド株式市況

インド株式市況は上昇しました。

インド株式市況は、当作成期首から2025年3月初めにかけて、インドの貿易赤字拡大が嫌気されたほか、米国の利下げ期待の後退や盛り上がり欠けるインドの企業決算などが重しとなり、下落基調で推移しました。その後は、インドの追加利下げへの期待や貿易赤字の改善などから、外国人投資家の見直し買いが進んだことなどを背景に、反発しました。4月には、米国が発表した相互関税を巡る世界的な市場の動揺から一時調整したものの、インド中央銀行の追加利下げや、インドへの米国の関税措置の影響が相対的に限定的との見方などがサポート材料となり、上昇しました。5月から当作成期末にかけては、パキスタンとの軍事衝突をめぐり停戦合意が報じられたことや、インドの4月のC P I（消費者物価指数）においてインフレの鈍化傾向が確認され、6月上旬にインド中央銀行が利下げを行ったことなどから、堅調に推移しました。

小型株市況は、米国の関税措置の発表を受けて世界経済の先行き不透明感が意識される中、投資家のリスク回避の動きが強まり下落幅が大きくなる場面もありましたが、パキスタンとの停戦合意や利下げといった材料を受けて上昇しました。

■為替相場

インド・ルピーの対円為替相場は下落しました。

インド・ルピーは、対米ドルではおおむね横ばい圏で推移したものの、日銀による利上げ観測が強まったことや、トランプ米国政権の関税政策をめぐり投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから米ドルが対円で下落したため、インド・ルピーも対円で下落しました。

ポートフォリオについて

(2025. 1. 31 ~ 2025. 6. 16)

■当ファンド

当ファンドは「アンビット・インド・アセンション・ファンド」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。「アンビット・インド・アセンション・ファンド」への投資割合は、信託財産の純資産総額の90%程度以上とすることをめざしました。

※アンビット・インド・アセンション・ファンド：アンビット・インド・アセンション・ファンド（クラスA）

■アンビット・インド・アセンション・ファンド

インドの小型企業の株式の中から、「事業投資の効率性」や「財務およびコーポレートガバナンスの質」に着目したアンビット独自のフレームワークに基づき、成長の可能性が高く、リスクの低い効率的な企業を選定し、さらに従業員や消費者、競合他社に関する情報など、企業に関わる定性的な情報を収集して加味することで、銘柄を絞り込み投資しました。

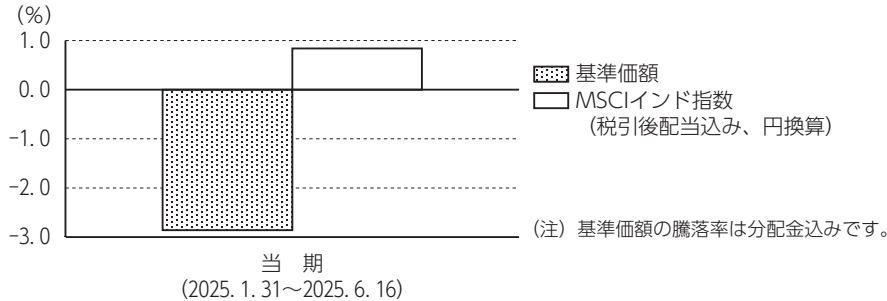
個別銘柄では、TECHNO ELECTRIC&ENGINEERING COMPANY LIMITED（資本財・サービス）や PRUDENT CORPORATE ADVISORY SERVICES LIMITED（金融）などが良好な株価推移を示し、プラスに寄与しました。一方で、ORCHID PHARMA LTD（ヘルスケア）や ENTERO HEALTHCARE SOLUTIONS LIMITED（ヘルスケア）などの株価が軟調であったことがマイナス要因となりました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、分配対象額を計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2025年 1 月31日 ～2025年 6 月16日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	—

- (注 1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注 2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注 3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注 4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、「アンビット・インド・アセンション・ファンド」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。「アンビット・インド・アセンション・ファンド」の買付け等に支障がある場合、インドの株式を対象としたE T F（上場投資信託証券）に投資を行う場合があります。また、「アンビット・インド・アセンション・ファンド」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■アンビット・インド・アセンション・ファンド

インドの小型企業の株式の中から、「事業投資の効率性」や「財務およびコーポレートガバナンスの質」に着目したアンビット独自のフレームワークに基づき、成長の可能性が高く、リスクの低い効率的な企業を選定し、さらに従業員や消費者、競合他社に関する情報など、企業に関わる定性的な情報を収集して加味することで、銘柄を絞り込み投資します。セクター別では、製造業の振興政策などから恩恵を受ける資本財・サービスセクター、消費拡大の追い風を受ける一般消費財・サービスセクターなどを中心にポートフォリオを構築します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2025. 1. 31～2025. 6. 16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	43円	0.464%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,300円です。
(投 信 会 社)	(13)	(0.144)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(29)	(0.310)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.010)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	0	0.005	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託受益証券)	(0)	(0.005)	
有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	44	0.473	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

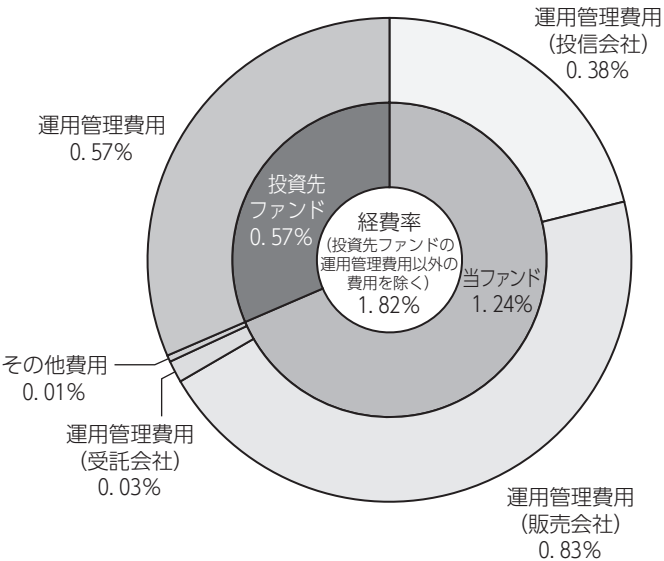
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■経費率

当作成中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.82%です。



経費率（①＋②）	1.82%
①当ファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用	0.57%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注3) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。
(注4) 各比率は、年率換算した値です。
(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2025年 1 月31日から2025年 6 月16日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	AMBIT INDIA ASCENSION FUND CLASS A (インド)	274, 286. 6363589	27, 383, 059	1, 812. 86999	158, 507

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2025年 1 月31日から2025年 6 月16日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	0	1	—	—

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2025年 1 月31日から2025年 6 月16日まで)

決 算 期	当 期					
区 分	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	17, 285	2, 297	13. 3	—	—	—
コール・ローン	969, 744	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0. 0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第 1 項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券株式会社です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (インド) AMBIT INDIA ASCENSION FUND CLASS A	272, 473. 7663689	26, 591, 832	97. 9

(注 1) 比率欄は純資産総額に対する評価額の比率。
(注 2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	当 期 末	
	口 数	評 価 額
	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	0	1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年 6 月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	26, 591, 832	97. 4
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0. 0
コール・ローン等、その他	713, 738	2. 6
投資信託財産総額	27, 305, 571	100. 0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年6月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	27,305,571,560円
コール・ローン等	713,738,557
投資信託受益証券（評価額）	26,591,832,002
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	1,001
(B) 負債	133,107,194
未払解約金	14,655,356
未払信託報酬	117,667,464
その他未払費用	784,374
(C) 純資産総額（A－B）	27,172,464,366
元本	27,971,547,730
次期繰越損益金	△ 799,083,364
(D) 受益権総口数	27,971,547,730口
1万口当り基準価額（C／D）	9,714円

* 期首における元本額は26,455,318,931円、当作成期間中における追加設定元本額は2,349,601,678円、同解約元本額は833,372,879円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,714円です。
* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は799,083,364円です。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	0
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	0
(h) 受益権総口数	27,971,547,730口

■損益の状況

当期 自 2025年1月31日 至 2025年6月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	1,293,549円
受取利息	1,293,549
(B) 有価証券売買損益	△ 562,078,920
売買益	66,338,169
売買損	△ 628,417,089
(C) 信託報酬等	△ 118,459,538
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	△ 679,244,909
(E) 追加信託差損益金（売買損益相当額）	△ 119,838,455
(F) 合計（D＋E）	△ 799,083,364
次期繰越損益金（F）	△ 799,083,364
追加信託差損益金（売買損益相当額）	△ 119,838,455
繰越損益金	△ 679,244,909

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。(下線部を変更)

<変更前>

(運用報告書に記載すべき事項の提供)

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

<変更後>

(運用状況にかかる情報の提供)

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求があった場合には、当該方法により行なうものとします。

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

アンビット・インド・アセンション・ファンド

当ファンド（ダイワ・アンビット・インド小型株ファンド）の主要投資対象であるギフトシティ（インド）籍の外国投資信託「アンビット・インド・アセンション・ファンド（クラス A）」は、2025年3月31日に第1期決算を行っておりますが、2025年6月16日現在では決算情報を入手できておりません。

<補足情報>

当ファンド（ダイワ・アンビット・インド小型株ファンド）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2024年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2025年6月16日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2025年1月31日から2025年6月16日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
1296国庫短期証券 2025/6/30	11,489,972		
1286国庫短期証券 2025/5/12	3,497,277		
1305国庫短期証券 2025/8/12	2,297,769		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2025年6月16日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（26,020,237千円）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

2025年6月16日現在							
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	う ち B B 格 以 下 組 入 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	13,800,000	13,797,074	52.1	—	—	—	52.1

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2025年6月16日現在						
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	1296国庫短期証券	— %	11,500,000	11,498,457	2025/06/30	
	1305国庫短期証券	—	2,300,000	2,298,617	2025/08/12	
合 計	銘 柄 数 金 額	2銘柄	13,800,000	13,797,074		

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第20期（決算日 2024年12月9日）

（作成対象期間 2023年12月12日～2024年12月9日）

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

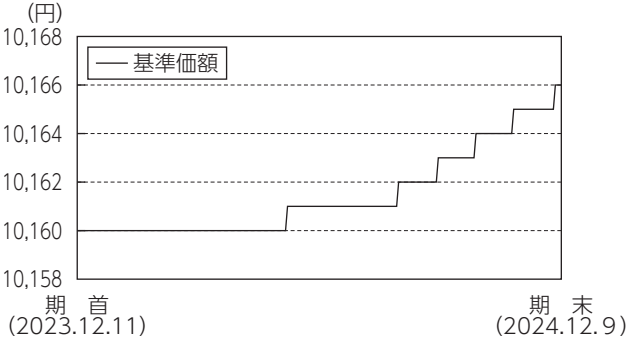
運 用 方 針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	本邦通貨表示の公社債
株 式 組 入 制 限	純資産総額の30%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 入 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2023年12月11日	円	%	%
12月末	10,160	0.0	—
2024年 1 月末	10,160	0.0	—
2 月末	10,160	0.0	—
3 月末	10,160	0.0	54.3
4 月末	10,160	0.0	61.4
5 月末	10,161	0.0	61.1
6 月末	10,161	0.0	53.7
7 月末	10,161	0.0	53.8
8 月末	10,162	0.0	54.0
9 月末	10,163	0.0	56.8
10月末	10,164	0.0	52.1
11月末	10,165	0.0	59.1
(期末)2024年12月 9 日	10,166	0.1	59.0

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,160円 期末：10,166円 騰落率：0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債およびコール・ローン等の利回りが低位で推移したことなどから、基準価額はおおむね横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期首より2024年2月までは、日銀のマイナス金利政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りはおおむねマイナス圏で推移しました。その後、3月に日銀はマイナス金利政策を解除しましたが、緩和的な金融環境が継続する中、国庫短期証券（3カ月

物）の利回りは低位で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性及資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性及資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性及資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2023年12月12日から2024年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円	千円
		34,898,602	— (21,000,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2023年12月12日から2024年12月9日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄	銘	柄
金 額		金 額	
千円		千円	
1258国庫短期証券	2024/12/23	11,398,953	
1219国庫短期証券	2024/6/24	10,999,769	
1239国庫短期証券	2024/9/24	9,999,950	
1266国庫短期証券	2025/2/10	2,499,930	

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	当 期		期 末	
	額面金額	評 価 額	組入比率	うち88格以下組入比率
区 分	千円	千円	%	%
国債証券	13,900,000	13,899,790	59.0	—

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

当		期		末			
区	分	銘	柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日
国債証券		1258	国庫短期証券	—	千円 11,400,000	千円 11,399,837	2024/12/23
		1266	国庫短期証券	—	2,500,000	2,499,953	2025/02/10
合計		銘柄数 金 額		2銘柄	13,900,000	13,899,790	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	13,899,790	57.7
コール・ローン等、その他	10,201,274	42.3
投資信託財産総額	24,101,065	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	24,101,065,702円
コール・ローン等	10,201,274,983
公社債(評価額)	13,899,790,719
(B) 負債	539,914,600
未払解約金	539,914,600
(C) 純資産総額(A－B)	23,561,151,102
元本	23,177,163,591
次期繰越損益金	383,987,511
(D) 受益権総口数	23,177,163,591口
1万口当り基準価額(C／D)	10,166円

* 期首における元本額は19,198,713,135円、当作成期間中における追加設定元本額は26,183,209,751円、同解約元本額は22,204,759,295円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

 ゴールド・ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用） 9,272,436,966円

 ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド - A I 新時代-（為替ヘッジあり） 1,316円

 ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド - A I 新時代-（為替ヘッジなし） 1,316円

 ダイワ F E グローバル・バリュウ（為替ヘッジあり） 9,608円

 ダイワ F E グローバル・バリュウ（為替ヘッジなし） 9,608円

 NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり） 1,862円

 NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし） 1,862円

 世界水資源関連株式ファンド 984円

 ダイワ／“R I C I” コモディティ・ファンド 2,074,249円

 NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型） 1,595円

 NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／隔月分配型） 1,428円

 NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／資産成長型） 1,772円

 NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型） 1,270円

 世界セレクトティブ株式オープン 983円

 世界セレクトティブ株式オープン（年2回決算型） 983円

 iFreeETF NASDAQ100インバース 1,625,040,517円

 iFreeETF NASDAQ100レバレッジ 6,118,952,239円

 iFreeETF NASDAQ100ダブルインバース 1,922,334,672円

 iFreeETF 米国10年国債先物インバース 748,591,588円

 D Cダイワ・マネー・ポートフォリオ 3,487,675,074円

 ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型） - トリプル 1,851円

 リターンズー 日本円・コース（毎月分配型） 1,805円

 ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型） - トリプル 1,763円

 リターンズー 豪ドル・コース（毎月分配型） 1,957円

 ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型） - トリプル 3,666円

 リターンズー ブラジル・リアル・コース（毎月分配型） 1,773円

 ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型） 日本円・コース（毎月分配型） 1,606円

 ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型） 豪ドル・コース（毎月分配型） 1,427円

 ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型） 豪ドル・コース（毎月分配型） 1,922円

 ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型） 南アフリカ・ランド・コース（毎月分配型） 1,097円

 ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型） トルコ・リラ・コース（毎月分配型） 1,705円

 ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型） 通貨セレクト・コース（毎月分配型） 1,350円

 ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型） - トリプル 1,777円

 リターンズー 通貨セレクト・コース（毎月分配型）

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,166円です。

■損益の状況

当期 自2023年12月12日 至2024年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	10,741,987円
受取利息	11,228,079
支払利息	△ 486,092
(B) 有価証券売買損益	58
売買益	58
(C) 当期損益金(A + B)	10,742,045
(D) 前期繰越損益金	307,369,188
(E) 解約差損益金	△357,989,162
(F) 追加信託差損益金	423,865,440
(G) 合計(C + D + E + F)	383,987,511
次期繰越損益金(G)	383,987,511

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。